

平成 30 年度 日本教育情報学会主催

# 日本教育情報学会特別セミナー

日 時：平成 30 年 8 月 26 日（日）16:00～（受付 15:30～）

場 所：松蔭大学 厚木森の里キャンパス 3 階 2305 室（D 会場）

定 員：40 名

参加費：無料

## ◆16:00～16:30

### ICT を活用した「主体的・対話的で深い学びの実現」

久世 均(岐阜女子大学・教授)

#### 【ポイント】

学習指導要領の改訂の基本的な考え方は、それぞれの教科等が自分だけの立場で検討するのではなく、全体が連携しながらより高い目標を目指していかなければならないことです。また、「言語能力」や「問題発見・解決能力」とともに、「情報活用能力」を学習の基盤として重要な資質・能力と位置づけ、主体的・対話的で深い学びを実現することが求められます。すべての教科等で、目標や項目が何を指すのかを整理し、示し方を共通化することにより教科等間で連携することが求められます。

## ◆16:30～17:00

### 子どもたちの未来を創る「プログラミング教育が目指すもの」

本郷 健(大妻女子大学・教授)

#### 【ポイント】

プログラミング教育は「プログラミング的思考」という思考力、判断力、表現力等を育成することだけを目指していると思われがちですが、小学校、中学校、高等学校の段階での知識及び技能についての目標もあり、さらに「発達の段階に即してコンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を涵養すること」も含まれています。したがって、思考力等の育成だけを目指すのがプログラミング教育ではありません。プログラミングは、考えたことを、人間にとっても分かる言葉で表現することです。小・中・高等学校の各教科等で身に付ける資質・能力を「プログラミング的思考」とどのようにつなげるかも大切です。